

京都西南ロータリークラブ創立45周年記念例会・式典・祝宴を開催するにあたり、京都府知事 西脇隆俊様、京都市長 門川大作様をはじめ、京都市教育長 在田正秀様、右京区長 西田哲郎様、西京区長 平井義也様など、京都府・京都市の各行政機関、今年度の事業受け入れ先と共催者の京都市立鳴滝総合支援学校長 小林一義様、嵯峨美術大学・短期大学教授 山本直樹様、准教授 倉山裕昭様、また毎年「嵐山こども相撲大会」では多大なご協力をいただいている京都府相撲連盟会長 竹中武彦様、国際ロータリー第2650地区からは田中誠二ガバナー、岡野益巳地区幹事長、大韓民国・ソウルからは姉妹クラブの漢城ロータリークラブ会長エレクト 金武一様をはじめ、会員とそのご家族の皆様、中華民国・台北からは友好クラブの三重ロータリークラブ会長 張 實様をはじめ、多くの会員とそのご家族の皆様、また、5年前から交流を深めています、全国の西南ロータリークラブの皆様、そして我が京都西南ロータリークラブの会員、家族と関係各位のご臨席を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

当クラブは京都西ロータリークラブをスポンサークラブとして、ちょうど45年前の今日、1973年4月17日に京都市内で7番目のロータリークラブとして誕生しました。その後、1989年7月27日に京都桂川ロータリークラブを、2006年5月11日に京都西北ロータリークラブと京都桂川ロータリークラブと3クラブ合同で京都さくらロータリークラブを創立しました。また2001年1月23日には社会奉仕事業の一環としてプロバスクラブ京都を提唱しました。なお、1979年5月19日に京都西南ローターアクトクラブを提唱し活動を続けて参りましたが、昨年度の2017年6月末を持って活動を休止しました。国際ロータリーの枠に捕らわれない、我がクラブ独自の新たな新世代育成事業を立ち上げるため、どのような奉仕活動が求められているのかを、対象年齢に近い学生を交えて意見交換を開始しています。近い将来、我がクラブの奉仕事業がまた一つ増えることでしょう。このように我が京都西南ロータリークラブは数々の伝統を持つロータリークラブとして発展を続け、今日のこの日を迎えることができました。

今年度の国際ロータリーテーマ「ロータリー：変化をもたらす」の多様性を示すロゴマーク、国際ロータリー第2650地区スローガン「愛着と誇り」を受け、京都西南ロータリークラブの今年度のテーマを「多様性を結集して未来を創ろう。～これまでも西南、これからもずっと西南～」としました。各クラブや各会員、それらに関わる関係者全ての多様性を持ち寄り、結集し、お互いに受け入れることが出来れば、誰もが誇りを持ったクラブを作ることができる。また、これまでの西南もこれからの西南も受け入れ、ずっと西南に居続けようと、愛着を持って接することができる。そう思えるクラブ創りのきっかけとなる事を目指して、今年度は数々の事業を行いました。後ほど、それらの取り組みをご紹介させていただきますが、社会に対する貢献と共に、我々クラブの結集も感じていただけたら幸いです。

結びにあたり、今後も国際ロータリーの一員として地域社会に貢献するとともに、関係する全ての人々のご多幸を念頭に奉仕活動が続けることをお約束してご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。心より感謝いたします。



ご挨拶

国際ロータリー第2650地区
京都西南ロータリークラブ
2017～2018年度会長

大嶽 幸夫